

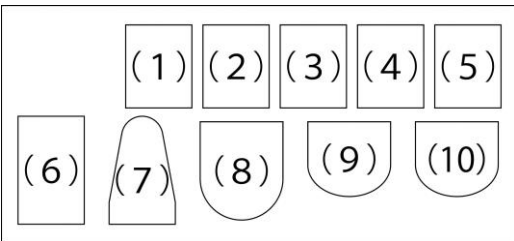
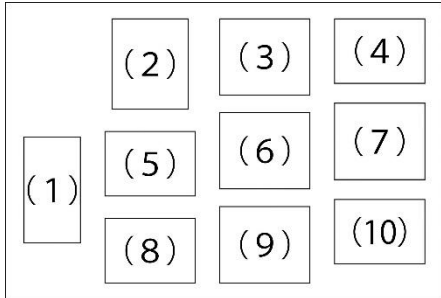
2021年4月19日
日本郵便株式会社

特殊切手「国宝シリーズ 第2集」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀）は、日本のさまざまな文化を象徴するものである国宝を題材として、特殊切手「国宝シリーズ 第2集」を発行します。

63円郵便切手は「絵画」・「工芸品」、84円郵便切手は室町中期から江戸前期までの「建築物」を、それぞれ採り上げています。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	国宝シリーズ 第2集	
発 行 日	2021年6月16日（水）	
種 類	63円郵便切手（シール式）	84円郵便切手（シール式）
切 手 画 像	別紙のとおり	
シ ー ト 構 成 ・ 意 匠		
	(1) <small>かかゆうらくず</small> 花下遊楽図（狩野長信筆・左隻部分）	(1) <small>るりこうじごじゅうのとう</small> 瑠璃光寺五重塔
	(2) <small>かかゆうらくず</small> 花下遊楽図（狩野長信筆・右隻部分）	(2) <small>ねごろじだいとう</small> 根来寺大塔
	(3) <small>ふうじんらいじんず</small> 風神雷神図（俵屋宗達筆・左隻部分）	(3) <small>たまうどうん</small> 玉 陵
	(4) <small>ふうじんらいじんず</small> 風神雷神図（俵屋宗達筆・右隻部分）	(4) <small>ほんがんにじゅうんかく</small> 本願寺飛雲閣
	(5) <small>かんぼうず</small> 観楓図（狩野秀頼筆・部分）	(5) <small>おおさきはちまんぐう</small> 大崎八幡宮
	(6) <small>くりからりゆうまきえきようぼこ</small> 俱利迦羅龍蒔絵経箱	(6) <small>まつえじょうてんしゆ</small> 松江 城 天守
	(7) <small>こんどうのうさしやうとう</small> 金銅能作性塔	(7) <small>にん なじこんどう</small> 仁和寺金堂
	(8) <small>いろえふじばなもんちやつぼ</small> 色絵藤花文茶壺（野々村仁清作）	(8) <small>くのうざんとうしやうぐう</small> 久能山東照宮
	(9) <small>ようへんでんもく</small> 曜変天目（稲葉天目）	(9) <small>いわしみずはちまんぐうほんしや</small> 石清水八幡宮本社
(10) <small>こひけまん</small> 牛皮華鬘	(10) <small>そうぶくじだいゆうほうでん</small> 崇福寺大雄宝殿	
売 価	630円（シート単位で販売します。）	840円（シート単位で販売します。）



印面寸法	(1) ~ (5) 縦 27.0mm × 横 21.0mm (6) 縦 36.0mm × 横 21.0mm (7) 縦 36.0mm × 横 21.0mm (8) 縦 32.5mm × 横 27.0mm (9) (10) 縦 24.0mm × 横 27.0mm	(1) 縦 42.0mm × 横 21.0mm (2) 縦 35.5mm × 横 29.5mm (3) (6) (7) (9) 縦 29.5mm × 横 35.5mm (4) (5) (8) (10) 縦 24.5mm × 横 35.5mm
小切寸法	(1) ~ (5) 縦 30.0mm × 横 24.0mm (6) 縦 39.0mm × 横 24.0mm (7) 縦 39.0mm × 横 24.0mm (8) 縦 35.5mm × 横 30.0mm (9) (10) 縦 27.0mm × 横 30.0mm	(1) 縦 45.0mm × 横 24.0mm (2) 縦 38.5mm × 横 32.5mm (3) (6) (7) (9) 縦 32.5mm × 横 38.5mm (4) (5) (8) (10) 縦 27.5mm × 横 38.5mm
シート寸法	縦 86.0mm × 横 187.0mm	縦 127.0mm × 横 187.0mm
写真撮影・提供	(1) (2) (5) 東京国立博物館 Image: TNM Image Archives (3) (4) 京都国立博物館 (6) (7) 東京国立博物館 (8) MOA 美術館 (9) 静嘉堂文庫美術館 イメージアーカイブ/DNPartcom (10) 奈良国立博物館	(2) ^{ねごろじ} 根来寺 (3) 那覇市 (4) 本願寺 (5) 中村 久男 (6) 松江市 (7) 後藤 昌美 (8) 檀林 正浩 (9) 首藤 光一
切手デザイン	丸山 智 (切手デザイナー)	
版式刷色	オフセット 6 色	
発行枚数	600 万枚 (60 万シート)	1,500 万枚 (150 万シート)
販売場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の郵便局など ・ 「郵便局のネットショップ」^(注) ・ 銀座郵便局での郵便振替による通信販売 	

2 発行する郵便切手のデザイン

【63 円郵便切手】

(1)、(2) ^{か か ゆうらくず}花下遊楽図

桃山時代の作品。各隻に「長信」の朱文壺型印があり、狩野長信（1577～1654）の作ということがわかる。

(3)、(4) ^{ふうじんらいじんず}風神雷神図

江戸時代の作品。風神と雷神は自然現象が神格化された神で、千手観音の^{けんぞく}眷属である二十八部衆の中にしばしば加えられる。

(5) ^{かんぼうず}観楓図

高雄清滝川のほとりで紅葉を楽しむ武士、僧侶、婦女子などを描く。背景は右方に神護寺をのぞみ、左方では愛宕山の雪が冬の訪れを告げる。画面左端に「秀頼」壺印がある。狩野派による近世初期風俗画の早期遺例として貴重である。



郵政創業150年

(6) 俱利伽羅龍時繪經箱くりからりゅうまきえきしょうばこ

流麗な筆致と金銀粉の巧みな配合の下に描かれた蓋面の図様は、極めて秀逸で当代の仏画をそのまま見る感がある。この經箱は、もとは三段造の構造であったことが側面の図様より推定される。

(7) 金銅能作性塔こんどうのうさしょうとう

宝瓶に仏舎利を納めるのは一般的に行われることであるが、本作のように積み重ねた各部分に変化を与え、それが統一した構成になっていることは、まさに能作性珠の容器として相応しい表現である。その精緻端整な意匠や技法は鎌倉時代の金工技術の発展と特色をみせる。

(8) 色絵藤花文茶壺いろえふじばなもんちやつぼ

仁清作の色絵茶壺の代表作として評価が高い。温雅な形とこれによく調和した藤花文様、巧みなろくろ轆轤技術に、仁清の特徴が顕著に表れている。かつて、多くの仁清作品を所有していた丸亀藩京極家に伝来した。

(9) 曜変天目ようへんてんもく

淀藩主稲葉家に伝わったことから「稲葉天目」とも称される。漆黒の釉薬がかかり、内部に現れた斑紋の周囲が青や虹色に輝く。このような特徴を持つ「曜変」は、南宋時代・建窯の偶然の所産と見られ、現存数は世界に3碗のみ。中国陶磁、茶道具の至宝とされる名碗である。

(10) 牛皮華鬘ごひけまん

全部で13枚が残されている。13枚は、製作様式が多種で、それぞれの図様、配色、手法などは細部を異にして表現している。迦陵頻伽の描線、量感に富む宝相華文、重厚な賦彩、大らかな手法の金銅金具に施される截金など、いずれも充実した構成が見事である。また、まとまって伝えられていることは非常に重要である。

【84円郵便切手】

(1) 瑠璃光寺五重塔るりこうじごじゅうのとう

山口県の瑠璃光寺五重塔は、室町時代の守護大名・大内義弘が応永の乱で戦死した後、弟の盛見が兄の菩提を弔って建立した建造物である。完成は1442（嘉吉2）年。

屋根は檜皮葺き、各層とも形状が優美で、日本三名塔の一つといわれている。

(2) 根来寺大塔ねごろじだいとう

根来寺は覚鑿上人が高野山に創立した大伝法院を始まりとし、のち1288（正応元）年ごろ現在地に移った。この塔は高野山の根本大塔にならって造られたものといわれるが、根本大塔に古建築が失われている現在では、大塔形式をうかがい知ることのできる唯一の遺構として、貴重である。



(3) 玉陵 たまうどうん

玉陵は、首里城の西側に位置する琉球第二尚王統の王陵で、三代尚真王により 1501（文亀元）年に築造された。ほぼ長方形の平面に廻らす石牆の奥に 3 棟の墓室を連立させ、前方に祭祀のための広い前庭を設ける。墓室は、自然の洞穴を利用しながら前面に石灰岩の切石を精緻に積み上げて切妻造きりづまづくりの墓室を築造した、いわゆる破風墓の形式を持つ。

(4) 本願寺飛雲閣 ほんがんじひうんかく

本願寺飛雲閣は、金閣、銀閣と合わせ京都三名閣の一つに数えられ、桃山時代を代表する楼閣建築。名勝・滴翠園内に、池に面して建ち、さまざまな様式の屋根の重なりが、飛ぶ雲をイメージさせる。

(5) 大崎八幡宮 おおさきはちまんぐう

大崎八幡宮は伊達政宗によって造営され、1607（慶長 12）年ごろ完成した。この建築は豊国廟の建築を模したと伝えられ、随所に見事な彫刻、彩色をほどこした権現造社殿で、仙台地方に移入された桃山建築の優秀な遺構である。

(6) 松江城天守 まつえじょうてんしゅ

松江城は、松江市街の中心部、亀田山に築かれた平山城である。1600（慶長 5）年に出雲・隠岐の領主となった堀尾氏が、1607（慶長 12）年より築城を開始し、1611（慶長 16）年にほぼ完成した。現在の天守はこの時につくられたものである。通し柱による構法などの独自の建築的特徴を有し、近世城郭最盛期を代表する建築として極めて高い価値がある。

(7) 仁和寺金堂 にんなじこんどう

1613（慶長 18）年造営の御所の紫宸殿を 1643（寛永 20）年ごろに移建したもので、現存最古の紫宸殿の遺構として重要なものである。

(8) 久能山東照宮 くのうざんとうしょうぐう

久能山東照宮は、徳川家康を祀る霊廟として創建され、1617（元和 3）年に創建された。本殿、石の間、拝殿は、いわゆる権現造の形式をもつ複合社殿で、中井大和守正清によって造営された。

(9) 石清水八幡宮本社 いwashimizuはちまんぐうほんしゃ

石清水八幡宮は、桂川、宇治川、木津川の三川の合流点にある男山に所在し、860（貞観 2）年の創建以来、公家や武家をはじめとして、広く崇敬を集めた。創建後はたびたび社殿を焼失等したものの、その都度復興し、近世初頭には、1580（天正 8）年の織田信長による社殿修復に続き、1598（慶長 3）年から豊臣秀頼による境内再興が行われた。現在の本社社殿群は、1634（寛永 11）年に徳川家光により造替されたものである。

(10) 崇福寺大雄宝殿 そうふくじだいゆうほうでん

崇福寺は寛永六年支那僧超然の創建にかかり、大雄宝殿はその本堂で正保三年に建立された。上の重は元禄時代に附加され和様の手法が濃厚である。



3 その他

通信販売などの販売概要および郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

(注)「郵便局のネットショップ」への掲載は、2021年6月16日(水)の予定です。

以 上

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-2328-86 (フリーコール)

携帯電話から 0570-046-666 (有料)

<受付時間 平日 8:00~21:00

土・日・休日 9:00~21:00>



郵政創業150年